

修習技術者支援セミナー・第28回CPDセミナー及び公開講座・技術士第一次・第二次試験合格者祝賀会[高知会場] 20140627

平成26年6月27日に高知会館にて、修習技術者支援セミナー、第28回CPDセミナー及び公開講座、技術士第一次・第二次試験合格者祝賀会が行われた。

□ 修習技術者支援セミナー

セミナーは、横山修習委員の司会により、最初に合格者体験談発表として、新合格者の堤氏（高知県高知土木事務所）と佐川会員（四万十市西土佐総合支所）の2名の方に発表して頂き、技術士の受験の動機、受験対策、技術士としての今後について等、受験者にとって大変参考になる貴重なお話を頂いた。

次に、横山修習委員より「修習技術者のために」と題して、技術士制度と技術士、技術士試験の仕組み、修習技術者の修習のあり方、改正された第二次試験について説明して頂いた。



新合格者による体験談の発表



横山修習委員によるセミナー

□ 第28回CPDセミナー及び公開講座 （公社）日本技術士会四国本部の武山本部

長の開会挨拶に続いて、小松事業委員より日本技術士会四国本部についての紹介があった。次に、合格者8名、岡林宏二郎[建設部門-土質及び基礎、高知工業高等専門学校環境都市デザイン工学科]、佐川徳和[建設部門-施工計画・施工設備及び積算、四万十市西土佐総合支所]、曾我部敏彦[建設部門-道路、高知県中央西農業振興センター]、堤貴司[建設部門-河川、砂防及び海岸・海洋、高知県高知土木事務所]、山地孝樹[建設部門-鋼構造及びコンクリート、(株)四電技術コンサルタント]、福原弓子[技術士補（建設部門）、都市開発コンサルタント(株)]、横山雄一[技術士補（建設部門）、(株)四電技術コンサルタント]、入福恵[総合監理部門-建設環境、(株)四電技術コンサルタント]が紹介され、自己紹介が行われた。

この後、片岡青年技術士交流委員より青年技術士交流会の活動紹介があった。



武山本部長の挨拶



小松委員による四国本部の紹介



合格者による自己紹介



片岡委員による青年技術士交流会の活動紹介

続いて、CPD セミナーとして「建設業における知財の活用について」の演題で（公財）高知県産業振興センター産業連携推進部参事 栗本博樹氏、公開講座として「液状化との闘いを越えて 浦安、被災 730 日のドキュメント」の演題でビデオ鑑賞を行った。

1)「建設業における知財の活用について」高知県産業振興センター産業連携推進部 栗本博樹参事

栗本参事からは、まず初めに（公財）高知県産業振興センターの業務内容、弁理士の業務・試験制度、知的財産・産業財産権について説明して頂いたが、その中で特許査定件数（2012年）がパナソニック 8,570 件に対して、高知県全体で 150 件程度とかなり少ない状況にあること。土木技術の歴史と特許としてコンクリート・ダイナマイト・スチール・重機の特許取得の時代・出願人について、最近の土木技術関連特許として排水溝の発明・マ

ンホールの上昇防止方法の発明・緩まないナットの発明・杭打ち工法の発明等、特許制度が建設技術発展に深く関わってきていること。建設業における知財活用の現状については、他の製造業に比べ知財活用は低くなっているが、今後建設業の発展と生残りに向けて新しい施工方法・施工機械・資器材等の汎用性のある新技術の研究・開発が必要であり、高知県内の企業全体で研究・開発のための技術者の勉強会に取り組む必要があり、技術士の方もアドバイザーとして参加してもらえればとのこと。このように建設業における知財活用について大変有意義のお話を頂いた。

また、栗本参事のお話とリンクする部分があり、高知県建設管理課の今西課長より、高知県が進めている「高知県建設業活性化プラン」について説明して頂き、この活性化プランについても技術士会への協力のお願がありました。



産業振興センター 栗本参事



高知県建設管理課 今西課長

2)ビデオシアター「液状化との闘いを越えて 浦安、被災 730 日のドキュメント」解説:森直 樹幹事

本ビデオは、千葉県浦安における東日本大震災発生から2年間の活動記録である。

浦安市の大部分は埋立地であり、市の面積の約86%が液状化で被災した。道路80km、下水道23km、マンホール470基の被災、地割れと川のような泥水、道路に土の山、ディズニーランドの客約2,000人が帰宅困難者等被害の大きさがうかがえた。また、復旧・復興の中で、泥被害であったため災害救助法の適用が遅れたこと、ホテルの入浴支援や日赤・婦人会による炊き出しなど市民・企業の連携した活動のすばらしさ、日頃の避難訓練の大切さ等を感じた。また、津波被害ばかりが大きく報道される中で、改めて液状化による被害の甚大さや復旧・復興の大変さが伝わってきた。

ビデオ鑑賞後、森幹事より、復旧・復興のシナリオを作ることの大切さ、BCPの早めの作成、情報提供のスムーズさや与え方のしくみ作り、地元の技術士は生き残り復興の核になることが大切である等の貴重なお話があった。



森幹事による解説



右城副本部長による挨拶・乾杯



祝賀会の様子



山本副代表幹事(高知県技術士会)の中締め

□ 技術士第一次・第二次試験合格者祝賀会

技術士第一次・第二次試験合格者祝賀会は、右城副本部長の挨拶・乾杯で始まり、合格者や会員同士の懇親を深め、山本副代表幹事(高知県技術士会)の中締めにより閉会した。